

没後80年 清水登之

S h i m i z u T o s h i



《水兵のいるカフェ》1926年 東京都現代美術館蔵

2025.1.11[土] — 3.20[木・祝]

開館時間 ● 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日 ● 月曜日(祝日の場合は開館)、1月14日(火)、2月12日(水)、2月25日(火)

観覧料 ● 一般・大高生＝800(640)円、中学生以下無料 * 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介助者1名は無料

* ()内は20名以上の団体料金 * 企画展の料金で収蔵品展を無料観覧できます * 「家庭の日」の第3日曜日(1月19日、2月16日、3月16日)は中学生以下の子どもの同伴者2名まで観覧無料

主催 ● 栃木市教育委員会、栃木市立美術館 後援 ● 朝日新聞宇都宮総局、産経新聞社宇都宮支局、下野新聞社、東京新聞宇都宮支局、毎日新聞宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局、NHK宇都宮放送局、株式会社エフエム栃木、ケーブルテレビ栃木、株式会社とちぎテレビ、株式会社栃木放送 助成 ● 芸術文化振興基金、公益財団法人朝日新聞文化財団
栃木市立美術館・文学館企業等サポーター ● 滝沢ハム株式会社、栃木信用金庫、株式会社ホンダカーズ栃木中央、株式会社呉光製作所、トヨタホーム株式会社栃木事業所、ケーブルテレビ株式会社、とちぎ行政書士法人(令和6年12月1日現在、口数・申込順)

栃木市立美術館
Tochigi City Art Museum

www.city.tochigi.lg.jp/site/museum-tcam/
〒328-0016 栃木県栃木市入舟町7-26
TEL: 0282-25-5300



没後80年 清水登之 Shimizu Toshiki



《チャイナタウン》1928年 東京国立近代美術館蔵



《ニューヨーク、夜のチャイナタウン》
1922年 栃木県立美術館蔵



《大麻収穫》1929年 栃木市立美術館蔵

1887(明治20)年、栃木県下都賀郡国府村大塚(現在の栃木市大塚町)に生まれた清水登之は、20歳で単身渡米し、さまざまな労働で生活の糧を得ながら美術を学びました。1917(大正6)年にニューヨークに移り、アート・スチューデント・リーグでは指導を受けたアメリカ美術界の重鎮ジョン・スローンから高く評価されています。1924年にパリに移り、同地を拠点にヨーロッパ各地を旅し、哀歓にあふれた庶民の暮らしをユーモラスに描きました。

1927(昭和2)年1月、20年間に及んだ外国生活を終えて帰国、故郷栃木に生きる人々の暮らしや、急速に変化する東京近郊の風景と生活を描いています。1932年には中国に渡って上海事変取材、その後、中国各地や東南アジアで戦争に取材した作品を数多く制作しました。それらの作品にはいわゆる戦争記録画だけでなく、戦火に追われる民衆を描いた大作なども含まれています。1945年、疎開中の栃木の生家で愛息育夫の戦死の報せを受け、その年の12月に急病のため生家で死去しました。

本展覧会では20世紀前半の日本、アメリカ、ヨーロッパ、アジアを舞台に活躍した画家の生涯と画業を約60点の作品により回顧します。また同一の主題による作品を複数制作していることに注目し、画家の日記等から判明する制作の事情を紹介します。



《人柱》1943年 栃木市立美術館蔵



《育夫像》1945年 大川美術館蔵



《ロシアダンス》1926年 三重県立美術館蔵



《生家》1927年 栃木県立美術館蔵

同時開催 | 収蔵品展IV

展示室C

観覧料：一般／大高生 330(260)円 中学生以下無料

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介助者1名は無料

* ()内は20名以上の団体料金

*企画展の料金で収蔵品展を無料観覧できます

栃木市立文学館 |

企画展「東海道を旅したとちぎの人々」

3月23日(日)まで

文学館2階多目的室

観覧料：一般／大高生 330(260)円 中学生以下無料

* ()内は20名以上の団体料金

*企画展の料金で常設展を無料観覧できます

栃木市立美術館
Tochigi City Art Museum

〒328-0016 栃木県栃木市入舟町7-26 TEL: 0282-25-5300



X(旧Twitter)



Facebook



Instagram

www.city.tochigi.lg.jp/site/museum-tcam/

交通アクセス

電車 | 栃木駅(JR両毛線、東武日光線)下車、北口から徒歩約20分
バス | 栃木駅北口からふれあいバス「市街地循環線(西回り)」等で「藤沼酒店前」下車、徒歩約1分
自動車 | 東北自動車道、栃木ICから約10分

【関連イベント】

◎連続講座「清水登之 生涯と画業」

1月26日(日)「栃木から単身アメリカへ」

2月2日(日)「苦悩と歓喜のニューヨーク」

2月16日(日)「パリの日々」

2月23日(日・祝)「昭和日本への帰国」

各回共に 14:00～15:30

講師：杉村浩哉(栃木市立美術館館長)

会場：きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 4階講義室
(栃木市市民交流センター)

対象：どなたでも(小学生以下は保護者の同伴必須)

定員：45名(要事前申込、受付開始1月11日(土)10:00
申込先0282-25-5300)

参加費：無料

◎館長(担当学芸員)によるギャラリートーク

1月11日(土)14:00～(30～40分程度)

集合場所：展示室A

対象：どなたでも

当日の企画展観覧券が必要

◎学芸員とトークで観察(対話型鑑賞)

1月19日(日)11:00～11:30

集合場所：多目的室(つなてみち)

対象：小学生(1家庭の日)子ども1名につき保護者2名まで無料

◎ワークショップ「油絵を描いてみよう」

油絵を初めて描く方向けのワークショップ

2月9日(日)10:00～12:00

講師：林美希氏(栃木県立小山城南高校教諭)

集合場所：多目的室(つなてみち)

対象：小学生以上

定員：12名(事前申込制、受付開始1月11日(土)10:00
申込先0282-25-5300)

材料費：1,000円

◎学芸員によるキッズギャラリートーク

2月15日(土)14:00～14:30

集合場所：展示室A

対象：小学生

◎ワークショップ「麻紙漉き」

3月2日(日)10:00～11:00

講師：野州麻紙工房

会場：多目的室(つなてみち)

対象：小学生以上

定員：15名(事前申込制、受付開始2月2日(日)10:00
申込先0282-25-5300)

材料費：1,100円

◎トーク「栃木の麻」

3月2日(日)11:30～12:00

講師：大森芳紀氏(麻農家8代目)

集合場所：多目的室(つなてみち)

当日の企画展観覧券が必要

